



第 317 号

2015年(平成27年)6月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空清町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 運天 政五郎
大臨技ホームページ URL
http://www.osaka-amt.or.jp/

多職種
公開講座

第5回 南地区地域オープンセミナー

Theme 「コミュニケーション能力をアップしよう！」

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

近年、チーム医療が推進されるなか臨床検査技師の活躍する場は多岐にわたり、患者さんをはじめ他職種とのコミュニケーション能力が非常に重要になっています。コミュニケーション能力をアップすることは患者さんや医療スタッフと良好な関係が保たれ、円滑な業務に繋がります。また、一方で、ささいなコミュニケーション不足から大きな医療事故に発展するケースもあります。

そこで、今回はコミュニケーション能力アップを図る企画を立てました。第2部では、プロのマジシャンに相手をリラックスさせるマジックなどを披露していただき、ファーストコンタクト大切さについて考えたいと思います。第3部では、幾つかの場面を想定したロールプレイを実践していただきます。このセミナーでコミュニケーション能力をアップして業務に活用していただければ幸いです。皆様ふるってご参加のほどよろしくお願ひ申し上げます。

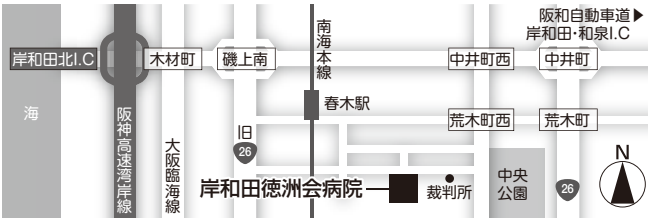
*会場の都合上、ロールプレイへの参加は当日受付にて先着60名までとさせていただきます。先着順に漏れた方は、誠に申し訳ありませんが聴講のみとなりますことをご了承ください。

日時 平成27年6月13日(土) 14:25~17:30
(受付14:00~)

会場 岸和田徳洲会病院 3階大講義室
(南海本線春木駅 徒歩8分)

参加費 500円(一律)

連絡先 阪南中央病院 臨床検査科 喜舎場 智之
E-mail: hannankensa@yahoo.co.jp
TEL: 072-333-2100(内線367)



第1部 14:25~14:30 オリエンテーション
南地区責任者

第2部 14:30~15:15 プロに学ぼう
ファーストコンタクトの大切さ！
講師：マジシャン ローズ

第3部 15:30~17:30 ロールプレイでコミュニケーション
能力をアップしよう！
講師：アボットジャパン株式会社
営業本部
牧野 綾・加藤 明彦

【お詫び】5月号掲載の地区事業世話人名簿に訂正があります。
(誤)

中央地区委員			施設名
地区名	区長および副区長		
第4地区	区長	西 時 男	市立枚方市民病院
	副区長	戸 井 史 治	枚方共済病院
		白 川 瑞 恵	関西医科大学附属滝井病院

(正)

中央地区委員			施設名
地区名	区長および副区長		
第4地区	区長	松 本 仁	松下記念病院
	副区長	白 川 瑞 恵	関西医科大学附属滝井病院

学術部 血液検査部門からのお知らせ

血液形態セミナー・シニア 開催日変更等のお知らせ

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

日時 平成27年6月11日(木) 18:30~20:00

参加費 会員(オブザーバー)600円

※ご注意!6月4日より変更になっています!

※参加費はお釣りのいらぬようご準備ください。

会場 大阪府済生会中津病院 南棟 2階講堂

内容はメールフォトサーベイの集計結果報告およびサーベイに使用した画像のディスカッションとなります。

※会場が変更になる場合があります。
変更がある場合のみ大阪府臨床検査技師会ホームページに掲載いたします。前日に必ずホームページおよびメールの確認をお願いいたします

連絡先 星ヶ丘医療センター 臨床検査部 稲田 孝
TEL: 072-840-2641 (内線298)

微生物検査部門 基礎講座&実技講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

講義編

晴れて検査技師となり微生物検査を担当することになった方も、担当部署の異動で微生物検査を担当することになった方も、別の担当業務の合間に微生物検査をお手伝いすることになった方も、明日からのルーチンに役立つ細菌の基礎講習会です。「最低限これだけは知っておきたいこと」を中心に、塗抹検

査から培養同定・感受性までの一連の検査の講義です。

また医師や看護師、他の医療従事者の方には、検査が実際どのように進みどのように結果が報告されているか理解していただき、普段疑問に思っていることなどの解決になる講義です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

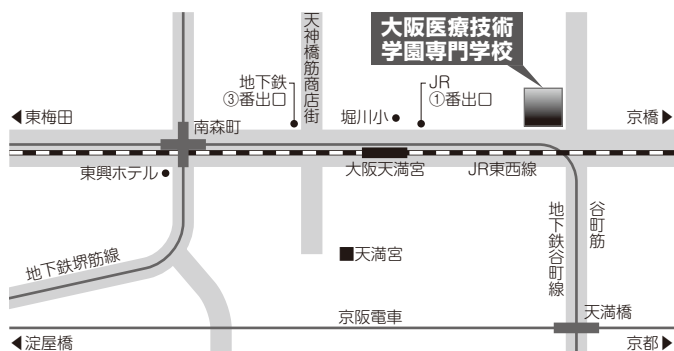
参加費 会員500円 非会員1,000円

連絡先 大阪赤十字病院 臨床検査科部 市村 佳彦
E-mail: y.ichimura.orc@gmail.com

受付時に大臨技会員証を必ず提示してください。
会員証の忘れ及び他府県会員証では、非会員扱いになりますので
ご注意ください。

日時・講師

- ▶ 平成27年6月4日(木) 18:30~20:00
ゼロからの塗抹鏡検
講師: 大阪市立大学医学部附属病院 小林 由佳
- ▶ 平成27年6月11日(木) 18:30~20:00
ゼロからの培養同定検査
講師: 大阪赤十字病院 畑 諒祐
- ▶ 平成27年6月18日(木) 18:30~20:00
ゼロからの薬剤感受性検査
講師: 大阪警察病院附属臨床検査センター 有村 泰晃



実技編

細菌検査の分野においてはまだまだ手作業の部分が多く、誤った器具の操作方法は自分だけでなく、共に働くスタッフにも感染の危険性を高めてしまいます。また、自動分析装置や簡便なキットが増えたと言っても、その検査結果を正しいものとして臨床に返すには、我々検査技師が判断しなければなりません。

基礎講座実技編は、微生物(細菌)検査の3本柱である塗抹・培養・感受性検査に必要な基礎技術の習得を目的として、基本操作を中心に、日常の検査業務の流れに沿った形で進めていきます。

評価点
専門教科
25点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

日程 平成27年7月18日(土) 9:00~17:00
(グラム染色のみの参加も可能です)
平成27年7月19日(日) 9:00~17:00
平成27年7月20日(月・祝) 9:00~15:30

募集人数 30名

申込み方法 申込み先にメール(携帯からは不可)または官製はがきにて

- 1) 実技申込みの選択
(グラム染色のみ、またはグラム染色+基礎実技講座両方)
- 2) 施設名
- 3) 部署
- 4) 施設の住所、郵便番号、電泡番号、FAX番号
- 5) 氏名
- 6) 日臨技会員の方は、日臨技会員番号
- 7) 微生物検査経験年数
- 8) 自施設で使用しているグラム染色の方法を記載のうえお申込みください。

* 受付後、確認メールを送らせていただきます。
なお、お申し込み後、5日以内に返信がない場合には、電話にてお問い合わせください。

会場 7月18日(土)・19日(日)・20日(月)
大阪医療技術学園専門学校

参加費 会員10,000円 非会員15,000円
グラム染色のみ参加 一律6,000円

申込み先 〒540-0008 大阪市中央区大手前1-5-34
大手前病院 臨床検査技術部 志村 敏史
E-mail: sa_shimura@yahoo.co.jp
TEL: 06-6941-0484

学術部 微生物検査部門からのお知らせ

微生物検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 「閉ざされた扉 Who left the door closed」

講師 兵庫県立尼崎病院 松尾 裕央

今月の講習会は感染症内科医の松尾裕央先生をお招きし、感染症医からの診断視点と微生物検査からの情報発信とのリンクを中心としたご講演をいただきます。

テーマとなっている「閉ざされた扉」についてですが、皆様は、どのような意味が含まれていると思われますか？閉ざされた扉…検査扉？、臨床の扉？あるいは、患者様自身の心の扉？などなどいろいろと考えられる要素はありますが、その真意は、講演のなかで、お話していただけることと思います。閉ざされた扉を開けてみたいと思いませんか？皆様のご参加お待ちしております。

日時 平成27年6月25日(木) 18:30~20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室
マップ:2ページ参照

参加費 会員500円 非会員1,000円

連絡先 大阪赤十字病院 臨床検査科部 市村 佳彦
E-mail: y.ichimura.orc@gmail.com

受付時に大臨技会員証を必ず提示してください。
会員証の忘れ及び他府県会員証では、非会員扱いになりますので
ご注意ください。

学術部 臨床化学検査部門 からのお知らせ

臨床化学検査部門 講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 「新しい腎疾患診断用バイオマーカー L-FABPについて」

講師 積水メディカル株式会社カスタマーサポートセンター 副センター長 松本 美枝

尿中肝臓型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)は急性・慢性腎疾患における新しいバイオマーカーとして2011年8月に保険収載された項目です。まだまだ認知度の低いL-FABPですが、既存の腎機能マーカーとは違った特徴を持ち、関連疾患の早期診断や経過観察に優れた指標です。

今回は、臨床的意義や汎用機用試薬による院内測定について講演をしていただき、最新の腎疾患診断用バイオマーカーの意義を学びたいと思います。

なお、今回の講演会は会場の都合で火曜日に開催します。
ご注意ください。

日時 平成27年6月9日(火) 18:30~20:00
!ご注意ください! 開催曜日が変更になっています

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室
マップ:2ページ参照

参加費 会員500円 非会員1,000円

連絡先 岸和田徳洲会病院 山中 良之
E-mail: Yoshiyuki.yamanaka@tokushukai.jp

学術部 病理細胞検査部門からのお知らせ

細胞診定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 消化器細胞診

講師 大阪府立成人病センター 竹中 明美

今月のテーマは消化器細胞診です。唾液腺領域から消化管、肝胆膵領域に関する基礎知識、出現する正常・良性異型細胞などの良性病変から腫瘍性病変にわたり、その組織型や細胞所見などについて解説していただきます。

初心者の方はもちろん、経験者の方も知識の整理に役立つ絶好の機会です。みなさまぜひご参加ください。

日時 平成27年6月15日(月) 18:45~20:15

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室
マップ:2ページ参照

参加費 会員700円 非会員1,200円
※大臨技会員証を必ず提示してください。
会員証の忘れと他府県会員証では非会員扱いとなります。

連絡先 星ヶ丘医療センター 臨床検査部 三原 勝利
E-mail: kattu310a@gmail.com

学術部 一般検査部門 からのお知らせ

一般検査基礎講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

一般検査基礎講習会を5～7月の水曜日に全6回にわたり開催します。本研修会は一般検査の基礎的内容を中心に学ぶことを目的としております。一般検査を始められた方からベテラン技師まで、幅広く学べる内容を考えております。

第3回目は尿沈渣検査法②としまして「上皮細胞類」の分類と鑑別法について、第4回目は尿沈渣検査法③としまして「円柱類」と「塩類・結晶類」について、円柱の生成から尿中に出現するまでの過程や結晶類の鑑別方法と臨床的意義などについて学びたいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第3回 尿沈渣検査法② 上皮細胞類

日時 平成27年6月10日(水) 18:30～20:30

会場 クレオ大阪中央 セミナーホール

内容 「上皮細胞類」
～上皮細胞の分類と鑑別をマスターしよう!～
講師: 大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部
滝沢 恵津子

参加費 会員500円 非会員1,000円
※先月号までの非会員の金額に訂正があります。
(誤)3,000円 (正)1,000円

連絡先 大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門 堀田 真希
E-mail: masakin@pop.dc5.so-net.ne.jp

予定 5回目以降は下記の通り開催いたします。
詳細については開催月の大臨技ニュースをご覧ください。
※各回とも18:30より開催。

第5回 平成27年 7月 8日(水) 「異型細胞」
クレオ大阪中央セミナーホール

第6回 平成27年 7月22日(水) 「髄液検査法」
クレオ大阪中央セミナーホール

第4回 尿沈渣検査法③ 円柱類と結晶・塩類

日時 平成27年6月24日(水) 18:30～20:30

会場 クレオ大阪中央 セミナーホール

内容 1. 「円柱類」～出現する病態と分類法～
講師: 大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門
小林 涉
2. 「結晶・塩類」～鑑別法と臨床的意義～
講師: 長吉総合病院 臨床検査科 野崎 聖恵



学術部 生理検査部門 からのお知らせ

生理検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

血圧脈波検査は動脈硬化指標のひとつであり、スクリーニング検査として広く用いられています。また、ABIはPAD(末梢動脈疾患)の診断・治療には欠かせない検査となっています。しかし、それらの数値はただ単に血圧差をみているのではなく、多くの意義を持っている事を知らない人は多いと思います。

今回「動脈硬化指標のいろいろ～血管機能検査-CAVI/PWV/ABIを中心に～」と題しまして、市立敦賀病院の河野裕樹先生に血圧脈波検査を中心に基本的事項から正しい測定方法やピットフォールまで、実際の臨床例を含めてお話し頂きます。この機会に血圧脈波検査をしっかりマスターしましょう。

Theme 「動脈硬化指標のいろいろ～血管機能検査-CAVI/PWV/ABIを中心に～」

講師 市立敦賀病院 医療技術部 検査室 河野 裕樹

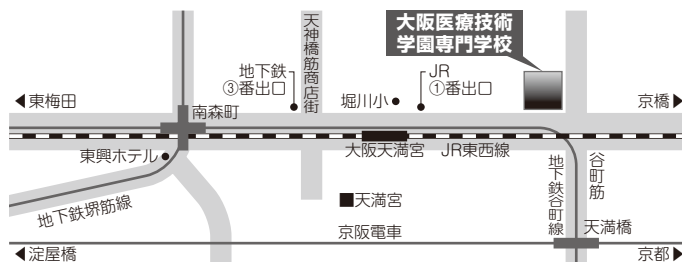
日時 平成27年6月26日(金) 18:30～20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

定員 100名(座席数)
※満員の際は入場をお断りする場合があります。

参加費 会員500円 非会員1,000円

連絡先 西宮渡辺心臓・血管センター 川崎 俊博
E-mail: kawasaki4552@gmail.com



予告 今年もやります! 第6回 血管エコー実技研修会のお知らせ

例年、好評の血管エコー実技講習会を本年も開催します。
エキスパート達のテクニックをぜひ習得しましょう。
詳しくは大臨技ニュース来月号に掲載します。

日時 平成27年8月9日(日)

会場 大阪府医師協同組合本部

募集期間 7月1日(火)～7月10日(木)

情報組織部チーム医療部門 糖尿病療養指導部会からのお知らせ

多職種
公開講座

糖尿病療養指導部会 定例勉強会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨床生涯教育点数

検査説明を求められどのように伝えたらいいのかわからないことや「ここは検査技師が説明した方がいいのでは？」と思った経験はありませんか？前半では、「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」で学んだことを基に、患者さんと接する時に注意したいこと、患者さんへの説明経験などを検体検査に携わる立場から具体的な事例を交えてご紹介します。

後半では動脈硬化と血管エコーについてお話しいたします。糖尿病患者は冠動脈疾患や脳血管疾患のリスクが非糖尿病患者の2～4倍と言われています。また末梢動脈疾患(Peripheral Arterial Disease;PAD)についても、その40%近くが糖尿病であると推察されています。このように糖尿病と動脈硬化は切っても切れない関係にあります。その動脈硬化を知るための血管エコー検査について普段エコー検査業務に携わっていない方にもわかりやすく解説していただきます。

みなさん、ふるってご参加ください。

日時 平成27年6月16日(火) 19:00~20:30

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

参加費 500円(一律)

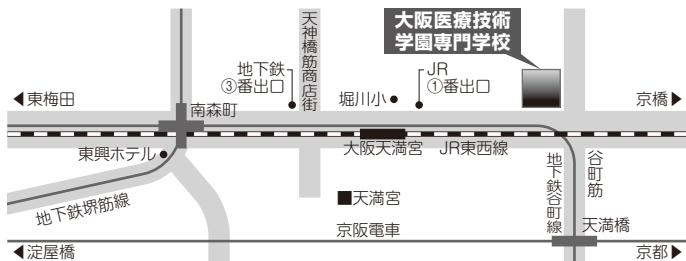
連絡先 ふくだ内科クリニック 横山 有子
E-mail: ariko0219@gmail.com

1 「こんな疑問あるみたいですが！
もしあなたが説明を求められたら…？
～検体検査編～」

講師：大阪府立母子保健総合医療センター 検査科
豊田 利恵子

2 「知らなきゃ損！一挙公開！！
すごくよくわかる動脈硬化と血管エコーのお話」

講師：大阪府済生会中津病院 検査技術部 山崎 正之



**糖尿病療養指導士認定のための更新単位
(臨床検査技師のみ第1群):0.5単位**
(CDEJの方で認定機構発行の「学会・研修会出席証明書」の必要な方は各自持参して参加証明印をもらってください。2群の単位は取得できません。)

多職種
公開講座

第27回 糖尿病療養指導士講演会

予告

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨床生涯教育点数

Theme 知っておこう！新たな血糖効果薬の登場と検査値への影響

日時 平成27年7月20日(月祝) 8:50~12:30
(受付8:30~)

会場 大阪大学中之島センター 10階ホール

参加費 500円(一律)

共催 テルモ株式会社

連絡先 ふくだ内科クリニック 横山 有子
E-mail: ariko0219@gmail.com

講演 1部

- 「当院におけるチーム医療への検査技師の関わり方」
講師：関西電力病院 臨床検査技師 坂口 健治
- 「副作用からみた糖尿病治療薬」
講師：大阪警察病院 薬剤部長 山本 克己

講演 2部 「腎機能からみた糖尿病治療薬」
講師：大阪市立大学大学院 代謝内分内分泌病態内科学
講師：森 克仁



本研修会は「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として
 <第2群>糖尿病療養指導研修 1単位(申請中)あるいは、
 <第1群>自己の医療職研修単位(臨床検査技師のみ) 1単位
 どちらか一方で認定申請可能です。

免疫血清検査部門 定期講演会2



評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨床生涯教育点数

日時 7月22日(水)18:30~20:00

会場 大阪市中央公会堂 B1大会議室

参加費 会員500円 非会員1,000円

定員 50名

連絡先 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 上田 一仁
E-mail: k.ueda@ashiya-hosp.com

内容 18:30~19:00

1. 免疫学的検査における精度管理のコツ
講師：株式会社ファルコバイオシステムズ
総合研究所検査二課 英 和良

19:00~20:00

2. 免疫機器の基礎原理
~機器の中はどんなってるの?~
講師：ロシユ・ダイアグノスティックス株式会社
免疫生化学部 藤原 規弘

平成27年2月7日(土) 大阪医科大学

Report

第4回 大臨技北地区オープンセミナー

緊急企画：「エボラ出血熱最新情報と対応策の実際」

当日参加された方2名の感想を紹介します。

センセーショナルな報道をされている「エボラ出血熱」について、検査対応が必要になるかもしれない状況を考え、少なからず不安を抱いていました。しかし、今回のセミナーに参加させていただいて、「エボラ出血熱」は必ずしも出血を伴わないことから、WHOでは、「Ebola virus disease; EVD (エボラウイルス病)」と呼ばれ、実は嘔吐・下痢などの消化器症状が主であり、発症初期に適切な治療を行えば救命できることが、恥ずかしながら解りました。また、実際に疑似症例を経験された先生方の検査対応における実体験談や国の対策についてお話を直接聴講でき、正しい知識でもってきちんと予防策を講じていれば無用に恐れることはないとわかり、不安感を払拭できました。今後、周りのスタッフにもきちんと伝えていきたいと思っております。ありがとうございます。

西アフリカで大流行しているエボラ出血熱の疑似症例の診察、検査を実際に担当された先生お二人のお話を伺えるという事で参加させていただきました。実際に行われた検査におけるご苦労だけでなく、死に至る可能性のある感染症の検査を行う事に伴う環境や人員の準備の大変さ等の貴重なお話もうかがうことができ、非常に勉強になりました。エボラ出血熱のみならず、今後流行の可能性のある感染症に備えることの大切さを改めて考える良い機会になりました。



株式会社LSIメディエンス
神戸市立医療センター中央市民病院 メディエンス検査室
森 宏和

株式会社LSIメディエンス
関西医大香里病院 メディエンス検査室 石川 瞳

Voice

臨床検査技師教育機関からの声

本校でのAED講習の取り組み

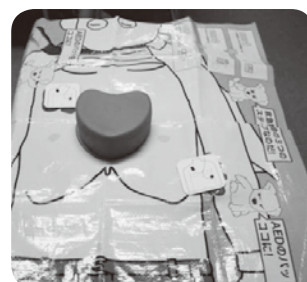
本校では、授業の一環として、新入生に対するAED (PUSHプロジェクト) 講習会を開催しています。講師は、本校の卒業生でもある枚方公済病院の数圭介先生です。数先生はPUSHプロジェクトなどを通じて、胸骨圧迫を中心としたBLS普及活動をされています。PUSHプロジェクトとは、胸骨圧迫だけの誰でもできる心肺蘇生の普及を通じて、突然倒れた方を救命できる地域づくりを目指すことを目標とし活動されています。本校でも、できるだけ多くの学生が受講することにより、身近で突然倒れた方がいた場合に即座に行動できるように、そして、医療人として命の大切さを学ぶ目的で授業に取り入れています。

今年の3月5日(木)、5月14日(木)にも本校教室にて、学生約200名と教務を対象に開催しました。最初、学生は自分にもできるだろうかと緊張した面持ちでしたが、講習が始まり、話を聞いているうちに突然死の多さに驚き、実際に起こったメッセージビデオの映像に涙し、胸骨圧迫やAEDの大切さを実感している様子が伺えました。そして、胸骨圧迫の実習をする学生たちは真剣に取り組んでおり、講習が終了する頃には医療人の顔になっていました。学生たちはこのときに感じた命の大

切さをいつまでも忘れず、相手の立場に立つことのできる立派な臨床検査技師になってくれることでしよう。

お忙しい中にもかかわらず、わかりやすく丁寧に講習をしていただきました数先生に、この場をお借りしてお礼申し上げます。また、数先生からは8月の緊急検査部会でも講習を実施しますので、ぜひ参加してくださいとのことでした。

日本医療学院専門学校 三年担任 米良 友宏



平成27年度「看護の日」週間事業 看護フェスタおおさか2015

大臨技のコーナーでは、頸部エコー検査と無侵襲ヘモグロビン測定を実施しました。全体で282名(学生155名、一般127名)の参加があり、頸部エコー196名、ヘモグロビン測定197名の実施、スタッフとして計14名が参加しました。機器提供のご協力をいただきましたメーカー様にはお礼申し上げます。

今年度は「命を守る 暮らし支える 地域医療の輪」をテーマに、各フロアでは様々な体験コーナーが開催されており、協賛企業の実演販売ブースも設置されていました。その中で、認知症サポーターキャラバンの「認知症サポーター育成講座」に参加しましたので紹介します。

65歳以上の4名に1名が認知症あるいは予備軍といわれています。認知症の人と家族への応援者である認知症サポーターを全国で多数養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して、認知症サポーター育成講座が全国で開催されており、「認知症サポーター養成講座」を受けた人が「認知症サポーター」となっています。

認知症サポーターには特別な何かの実施を求めるのではなく、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらうことを目的として自分のできる範囲で活動を推進しています。たとえば、友人や家族にその知識を伝える、認知症になった人や家族の気持ちを理解するよう努める、隣人あるいは商店・交通機関等、まちで働く人として、できる範囲で手助けをする、など活動内容は人それぞれです。また、サポーターのなかから地域のリーダーとして、まちづくりの担い手が育つことも期待されることから、認知症サポーターには認知症を支援する「目印」として、プレスレット(オレンジリング)をつけてもらい、「オレンジリング」が連繋の「印」になるようなまちを目指して活動されています。

現場で高齢な患者さんと関わる機会の多い医療従事者にとっても、高齢者をかかえる家族の一員としても取り組みやすい活動と感じました。日臨技でも「認定認知症領域検査技師制度」が立ち上がり今年2月28日~3月1日の2日間にかけて第1回指定講習会が開催されました。人らしさを大切に、ケアすることへ協力する活動が始まっています。

引用・参照:認知症サポーターキャラバンホームページ
<http://www.caravanmate.com>



看護フェスタ おおさか 2015



＜平成27年10月17日(土)・18日(日)＞ 大阪国際交流センターにて開催

一般演題 締切りせまる!!

学会ホームページURL

<http://www.osaka-amt.or.jp/kinki55/>

一般演題(口演のみ)

募集期間 平成27年5月1日(金)～6月30日(火) 募集予定 186題



臨床検査から医療への主張

～点から線そして面へ、臨床検査の可能性を求めて～

近畿支部学会まであと4か月…。

臨床検査に関わるすべての人が、輝き続ける未来のために

あなたの成果を共有したい!

「和になれ!浪花!(ワニナレナニワ)」 「行こ行こ!来い来い!(イコイコイコイ)」

学術部 特別企画の紹介

細胞検査部門：教育カンファレンス

10月18日 (日)

10:00～11:30

Theme 「子宮内膜細胞診のスキルアップを目指して」

ねらい

子宮内膜細胞診は広く行われているにも関わらず、細胞判定が難しい材料である。子宮内膜細胞診の正診率向上のために良性病変、悪性病変、LBC 処理材料の見方に分け細胞判定のポイントを解説する。良性病変分野では、内膜増殖症や癌と紛らわしい細胞像を呈する良性内膜病変について解説し、スライドカンファレンス方式で鑑別のポイントを述べる。

悪性病変分野では、内膜増殖症や高分化型の類内膜腺癌は細胞異型に乏しいため細胞異型のみでの判定は難しく、正診率の向上には構造異型を加味した判定基準の採用が重要である。この判定基準に基づいた悪性細胞の鑑別点と判定基準における問題点を述べる。LBC 処理材料の見方では、BD シュワパス法における、液状内膜細胞診での細胞観察のポイントを、OSG 式内膜細胞診に従って述べる。

以上の内容を3人の細胞検査士を講師にお招きし、わかりやすく初心者の方も理解できる教育カンファレンスを予定している。

座長

江口 光徳 (宇治徳洲会病院)
水野 幸恵 (福井県立病院)

演者

1. 悪性と紛らわしい細胞像を呈する良性病変について
小椋 聖子 (済生会野江病院 病理診断科)
2. Conventional標本における構造異型を加味した判定基準ー正診率の向上のためにー
岩井 宗男 (滋賀医科大学医学部附属病院 病理部)
3. LBC検体処理材料の見方
西川 武 (奈良県立医科大学附属病院 病院病理部)

一般検査部門：スライドカンファレンス

10月17日 (土)

15:00～17:30

Theme 一般検査スライドカンファレンス ～スマホであなたも挑戦～

ねらい

尿、体腔液、寄生虫虫卵・虫体成分などに出現する成分の鑑別法について、留意すべきポイントについて学ぶ。

実際のルーチン検査における、間違えやすい成分の鑑別や注意すべきポイントについて、参加者とディスカッションしながら学び、一般検査のレベルアップと標準化を図ることを目的とした、参加型のスライドカンファレンスである。

座長

堀田 真希 (大阪大学医学部附属病院)
佐伯 仁志 (東近江総合医療センター)

出題者

1. 増永 慎也 (福井大学医学部附属病院)
2. 仲間 美乃 (京都桂病院)
3. 鈴木 恭子 (紀南病院)

一般検査部門：シンポジウム

10月18日 (日)

9:00～11:40

Theme 尿検査から考える病態把握～尿沈渣検査の付加価値を高めるには～

ねらい

尿検査の結果について、見たままを報告してませんか？尿検査は疾患特異性は高くないものの、大まかな病態を推測できるため、次に何の検査を実施すべきなのかを考慮することができるスクリーニング検査として、非常に有用な検査である。しかし、その有用な検査でも、ただ結果を報告しているだけでは、その有用性が損なわれることもある。

本シンポジウムでは、どのような検査結果を報告することが臨床にとって必要なのか、どのような点に注意し報告すべきなのかについて、検査結果から考えられる疾患と、類似疾患との鑑別点などを中心に学び、尿検査における付加価値とは何なのか？を参加者全員で考え、“これからの尿検査に必要なこと”について討議を行う。

座長

大沼 健一郎 (神戸大学医学部附属病院)
小山 賢 (京都桂病院)

演者

1. 臨床に有用な赤血球形態情報の報告について考える
堀田 真希 (大阪大学医学部附属病院)
2. 異型細胞の報告について考える
佐伯 仁志 (東近江総合医療センター)
3. 尿中白血球や細菌の報告について考える
北川 大輔 (奈良県総合医療センター)
4. 総合ディスカッション

大臨技事務局からのお知らせ

当会は日臨技と大臨技の両会への入会を推奨します！
会員の皆様に対し、大臨技は身近な教育により、日臨技は学会や認定技師制度などを通じ、それぞれの立場から人材育成や職域拡大の役割を担います。

■平成27年度「年会費」納入について

日臨技・大臨技の両方に入会されている方と、大臨技のみに入会されている方では会費の金額や納入方法が異なりますので、ご注意ください。
詳細は大臨技ホームページをご覧ください。

※【重要】大臨技ニュース、大臨技ホームページを熟読の上、対応をお願いします。

日臨技・大臨技の両方に入会されている方は、日臨技へお問合せください。

1. 日臨技および大臨技に入会されている方

日臨技年会費10,000円と大臨技年会費5,000円を合算した15,000円が、日臨技に登録の振替口座から引落しされます。

2. 大臨技のみに入会されている方

郵便局に備付の「払込取扱票」（白地に青枠の用紙）に、必要事項を記入し、**大臨技年会費5,000円を早急にお振込ください。**

6月末日時点で会費未納の方には、「大臨技ニュース」等の当会発行物が送付されなくなりますので、ご了承ください。

4月以降に納入された方に関しては、会員証の発送は第2回目の7月25日頃を予定しています。それまでに勉強会等に参加される際は、会費を納入された時の受領証を会員証代わりとして受付でご提示ください。

3. 平成27年度より、大臨技のみ会員から日臨技にも入会された方

大臨技新・再入会費2,000円をご返金いたしますので、大臨技事務局までご連絡ください。

■平成27年度「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」（大臨技のみの会員専用）について

平成27年度「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」は、平成27年4月1日から6月1日からの申込分は締切りしました。

6月以降のお申込は、加入期間が8月1日（8ヵ月間）からの保険となり、保険料は1,970円で、締切は7月25日です。今年度の保険の募集は8月1日分が最終となり、これ以降は募集を行っておりませんのでご注意ください。

平成27年度「年会費」納入の際に一緒に加入手続きをお願いします。

※申込みには、「保険加入依頼書」の提出と保険料納入の両方が必要です。両方を確認しましたら、加入手続きを行います。

※大臨技臨床検査技師賠償責任保険への加入は、毎年度に申込みが必要です。

※一旦納入された保険料は返金できませんのでご注意ください。

■大臨技退会申請について

大臨技退会を希望される方は、大臨技ホームページより「退会届」をダウンロードし、必要事項を記入の上、大臨技事務局まで提出してください。

※【重要】日臨技・大臨技の両方を退会される方は、日臨技と大臨技の両会に退会の申請を行ってください。日臨技だけに退会申請しても、大臨技も同時退会した事にはなりませんのでご注意ください。

■平成27年度大臨技会員証について

第2回目の発送（4月以降に年会費を納入された方）は、7月25日頃の予定。

第3回目の発送（7月以降に年会費を納入された方）は、10月25日頃の予定。

■会員証の再発行について

紛失等により再発行を希望される場合は、大臨技ホームページより「大臨技会員証再発行申請書」をダウンロードし必要事項を記入の上、**大臨技事務局に届けると共に、再発行費500円を郵便局より納入してください。申請書と再発行費の入金確認後、発行します。**

再発行日程は、会員証発行日程に準じます。11月以降は、「会員登録証明ハガキ」を会員証の代わりといたします。

■臨床検査技師免許申請中の新入会員の方へ

臨床検査技師免許の取得後、速やかに大臨技ホームページより「臨床検査技師免許証番号 届出書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、当会事務局まで提出してください。届出後、正会員として正式登録されます。

※【重要】届出が無い場合は、翌年3月末日で除籍扱いとなります。

■施設・技師会・住所等の変更について

所属施設や所属技師会の変更、転居による住所の変更などが生じた場合、速やかに大臨技ホームページより「会員異動届」「施設登録用紙」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、当会事務局までご提出してください。送付先が不明な場合、大臨技ニュース等の送付物が届かなくなります。

質問・ご不明な点がございましたら、当会事務局までご連絡ください。

大臨技理事会報告 Executive board report

平成27年度 第1回(4月9日)開催分

1. 平成27年度大臨技定時総会について

・ 永年会員67名を表彰する。

・ 以下について議案とする。

- 1) 平成26年度事業結果
- 2) 平成27年度事業・予算
- 3) 平成27・28年度の役員選任

2. 大臨技教育セミナーについて

臨床検査教育機関と合同で開催する大臨技教育セミナーを7月18日午後2時～5時まで開催する。特別講演は「旨味成分について」、会場は検討中。

3. 近畿支部OB役員会について

前近畿臨床検査技師会のOBで構成される第1回役員会が、3月14日に大臨技事務局で開催され、組織規程等が検討された。

執行部は、会長：間瀬忠(奈良)、副会長：富永博夫(兵庫)、事務局長：山中亨(奈良)、会計：立脇憲一(滋賀)、理事：小林紀崇(大阪)、伊藤善祐(福井)、植山勇(和歌山)、湯浅宗一(京都)。総会を1年に1回開催する予定で、第1回は10月に大阪国際交流センターで開催予定。

4. メディカルジャパン2016の報告

2月4日から3日間インデックス大阪で開催された第1回総合医療展は、720社の出展があり、来場者27,692名、商談金額89億円で18.5億円の経済効果があった。

5. 看護フェスタおおさか2015について

5月9日(土)午後1時～4時まで大阪府看護協会桃谷センターで開催される。

主催は「看護の日～ハートフル大阪21～実行委員会」

第5回 大臨技北地区オープンセミナー

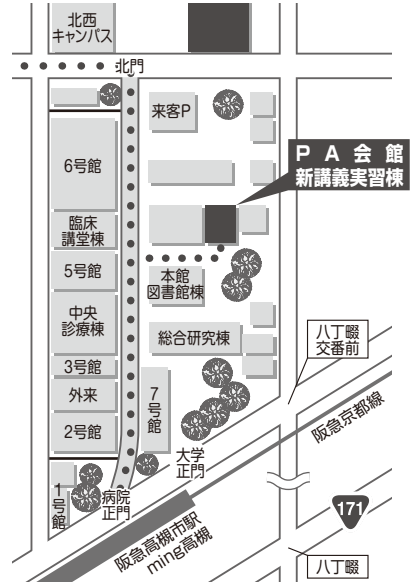
予告

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 『口腔ケア最前線』—新発見！口はわざわざい(病気)のもと—

口腔ケアとは、口腔の疾病予防、健康保持・増進、リハビリテーションにより QOL の向上をめざした科学であり技術です(日本口腔ケア学会 WEB より)。誤嚥性肺炎の予防としては、広く知られています。ところが、近年、「口腔ケア」と全身疾患との関係が大きな注目を集めています。口腔細菌が、感染性心内膜炎、糖尿病、脳卒中、さらには認知症まで関与していることが解明されつつあります。医療スタッフとして、この口腔ケアと病気の新たな関係を知ることは非常に重要と考え、今回のセミナーを企画しました。

また、後半は、病理・細胞診領域で注目を集める口腔粘膜病変の症例から、実際の口腔領域の臨床をわかりやすく解説していただきます。ぜひこの機会に、他の医療職種の方々、他府県の方々も多数ご参加ください。



ACCESS

高槻市大学町2-7
阪急高槻市駅徒歩3分、
またはJR高槻駅徒歩10分

日時 平成27年7月4日(土) 15:00~18:00

参加費 500円(一律)

会場 大阪医科大学新講義実習棟(PA会館)
3階P302講堂

対象 医療職種(臨床検査技師、歯科衛生士、
医師、看護師、薬剤師、放射線技師等)

連絡先 北地区責任者 大阪医科大学病院
東山 智宣

E-mail: tomohigashioamt@gmail.com

内容

1. 「口腔ケアの重要性 —全身疾患との関連性—」

講師: サンスター株式会社 歯科衛生士 辻本 好恵

2. 「大学病院における口腔ケアの実際」

講師: 大阪大学歯学部附属病院 看護部 看護師 加嶋 優貴

3. 症例提示:

① 骨粗鬆症第一選択薬(ビスフォスフォネート)による顎骨壊死の症例

② 口腔扁平上皮癌の症例—血液検査・画像検査・病理細胞像—

講師: 大阪大学歯学部附属病院 検査部 歯科医師 東條 文昭

自動化学発光酵素免疫分析装置

スフィアライトワコー

SphereLight Wako

- 迅速報告20分
- 処理能力 180テスト/時間
- 最大24項目をフルランダムアクセス処理



医療機器届出番号:13B1X00134000024

簡単・迅速を
追求しました。

HIGH
PERFORMANCE

腫瘍マーカー	AFP、CEA、CA19-9、CA125、PSA、NSE、proGRP、CA15-3、PVIKA II
甲状腺	FT3、FT4、T3、T4、TSH
他ホルモン	PRL、LH、FSH、i-PTH、C-ペプチド、インシュリン
感染症	HCV抗体、HBs抗原、HBs抗体、TP抗体、H.ピロリ抗体
心疾患	NT-proBNP、トロポニンT、CK-MB、ミオグロビン
その他	ベパシノゲンI、ベパシノゲンII、フェリチン、IgE、β2-m、PCT

[機器・試薬販売元] [試薬製造販売元]

和光純薬工業株式会社

[試薬製造販売元]

三洋化成工業株式会社

[機器製造販売元]

日立アロカメディカル株式会社

【問い合わせ先】

和光純薬工業株式会社

臨床検査薬 カスタマーサポートセンター

TEL: 03-3270-9134 (ダイヤルイン)

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務所までご送付ください。

平成27年7月号の原稿メ切は6月4日(木)、8月号は7月3日(金)です。